

相原中学校だより

第6号
H30.10.1

「真剣」そして「自信」

校長 江戸谷 智章

先日、民間団体が主催する書道コンクールに応募するために、夏休み期間中に生徒たちが取り組んだ書道作品を、担当の福岡先生が取りまとめていました。私がいくつか手に取って生徒たちの作品を見ていると、せっかくということで福岡先生が職員室の黒板に生徒の応募作品を掲示してくださり、職員室にいる生方で鑑賞することになりました。

生徒自らが自発的に応募するだけあって、太く堂々とした字、細かなところまで気を遣った繊細な字等々、どの作品も大人顔負けの筆づかいで感動する作品ばかりでした。

全身全霊を込めて真剣に書いた毛筆の文字と、いい加減な気持ちで書いた文字をそれぞれ電子顕微鏡で3万倍くらいに拡大して見ると、真剣に書いた毛筆の字は、墨の粒子が一粒一粒とてもきれいに並んでいるのだそうです。一方、見た目は美しく書けていても気持ちがこもっていない字は、墨の粒子の配列に乱れが生じていて、その差は明らかだという話を聞いたことがあります。

この話の真偽は別の機会にゆずるとして、日常、私たちが当たり前に使っている「真剣」という言葉の由来を調べてみると、まさに読んで字のごとく、木刀（ぼくとう）や竹刀（しな）ではない本物の剣のことを意味していて、切れ味の鋭い剣を使う以上、一瞬でも油断をしたら命がないということから転じて、真面目にそして本気で物事に取り組むさまと、辞書には説明されています。

しかしどうでしょう。私たちはこの「真剣」という言葉を、日ごろそれほどまでに深く受け止めて使ってはいないようなも思います（私だけかな?）。とは言え、自分の真剣さを周りに理解してもらうことはなかなか難しいことですし、ましてや「あのより私の方が真剣だ」などと言っても、真剣さの度合いを人と比較して優劣をつけたり、自慢したりすることもそもそもおかしな話です。そう考えると、「真剣」であったか、そうでなかったかというのは、出てきた結果の良し悪しに関係なく、どこまでも自分自身の問題ということになるかと思えます。

毎日毎日、何をやるにも真剣でいては、身も体ももたないでしょうが、かといって、誰も見ていないからといって真剣な振りをして、上手に周りの人をごまかすような生き方をしていると、きっと「真剣」からほど遠い生き方になってしまうようなも思います。

簡単なことではないとは思いますが、ここぞというときに真剣になれる、そんなメリハリをもつことが重要に思います。はじめは自分に興味のあることや好きなことからでもいいと思うのです。ほんのわずかな取り組みであっても、その繰り返しがいずれ「自信」につながり、何事にもゆるがない自分になっていくのかなとも思います。

毛筆が不得意な人であっても、あきらめずに一生懸命練習を重ねていくうちに、個性豊かな美しい字となり、書いた字に思いが込められて墨の一粒一粒にまでその精神が通じていくように、結果がどうであれ、自分をごまかすことなく一生懸命であること。良くも悪くもありのままの自分を受け止め、成長しようと強く願うこと。それがいつか必ず「自信」につながっていくのかなと思っています。



道徳が変わる!!!

豊かな心育成部 宮澤 佐有理

来年度からいよいよ中学校でも道徳が教科として始まります。大きく変わることは2点です。

1つ目は、道徳が「教科」としてしての位置づけになることで今まで副読本として使用していた「きらめき」から指定の教科書を使用するようになることです。2つ目は、評価するようになるということです。通知表では、国語や数学の評価のような数値でのものと異なり、「特別の教科 道徳」となり、総合的な学習の時間の評価と同じように文章表記になります。

では、道徳の何を評価するのか。道徳性？生活の行動？なかなかイメージしにくいと思いますが、普段の行動ではなく、道徳の時間に考えたことや発言、学期や年間を通しての成長などを表記します。これからAIがどんどん普及される時代に、道徳科として何を学んでいくことが大切か。技術の発展とともに人と人とのコミュニケーションをとる場面は今よりさらに少なくなり、対人関係スキルを向上させることがむずかしくなることが予想されます。私たち教員は道徳性を養う授業を目指し、生徒自身は「他者の意見や考えを聴き、尊重したうえで自分の意見を広げたり深めたりし、他者とともによりよく生きる」ことを目標に、相原中の道徳をすすめていきます。



10月の主な日程

10月

- | | |
|---------------------------|-------------------------|
| 1日 (月) 1年生合唱リハーサル | 17日 (水) 教育相談日 |
| 2日 (火) 文化部門実行委員会 | 18日 (木) 生徒会役員選挙リハーサル |
| 3日 (水) 文化部門前日準備 | 3年学級プログラム委員会 |
| 4日 (木) 第33回優輝祭文化部門 (市民会館) | 優輝祭 DVD 注文 |
| 5日 (金) 体育部門 (16日) の代休 | 19日 (金) 生徒会役員選挙立会演説会・投票 |
| 6日 (土) PTA 広報委員会 | 23日 (火) 3年生三者面談・3年生4校時 |
| 8日 (月) 体育の日 | 下校～26日 |
| 9日 (火) 学校へ行こう週間～10/12 | 24日 (水) 1年生授業参観・給食試食会 |
| 教育相談日 最終下校 17:00 | 25日 (木) 1・2年生学級プログラム委員会 |
| 10日 (水) 生徒会専門委員会 (前期最終) | 26日 (金) あいはら級職場体験 |
| PTA 指名委員会 | 2年生進路学習会・茶話会 |
| 11日 (木) 教育相談日 | 27日 (土) 造形さがみ風っ子展開会 |
| 12日 (金) 教育相談日 生徒会代表議会 | 31日 (水) 全学年学力テスト |
| 13日 (土) 小中音楽発表会 PTA 運営委員会 | 生徒会専門委員会 (後期第1回) |
| 16日 (火) 学校保健委員会 教育相談日 | |

体育部門感動の閉幕



雨天順延のため16日(日)の実施となりましたが、今年も生徒たちの手で体育部門が運営され、相原中の歴史の1ページを飾ることができました。生徒達の最後まであきらめずにやり切ろうとする姿勢から、沢山の感動と勇気をもらいました。また、保護者・地域の皆様からも、様々な場面でお力添えをいただきました。今後ともよろしくお願ひいたします。

